

**2026年 3月度 栃木県生協連 定例報告****1. 機関会議等****● 3月10日(火) 第5回 常任理事会****【議決事項】**

- 第1号議案 「議事録作成要領」制定の件
- 第2号議案 役員全体枠 推薦の件
- 第3号議案 役員推薦委員 選任の件
- 第4号議案 第6回定例理事会附議議案 承認の件
- 第5号議案 日本生協連委員 推薦の件

**【協議事項】**

- (1) 日本生協連 3.2 発出「イランをめぐる軍事行動の即時停止と、対話による平和的解決を強く求めます」緊急声明の発表を受けて、当会としての判断について
- (2) 2025年度事業活動のまとめと2026年度事業計画、事業予算(案)
- (3) 「報道代表者会との懇談会」について
- (4) 「2026年度機関会議スケジュール」について(変更なし)

**【報告事項】**

- (1) 2月度定例報告及び決算報告
- (2) パブリックコメント「令和8(2026)年度 栃木県食品衛生監視指導計画(案)に対する意見」→発出、とちぎ食の安全ネットワークから  
とちぎ食育元気プラン2026-2030 パブリックコメント提出

**● 3月9日(月) 第3回 地域生協部会 共済推進意情報交換会**

栃木県内の事業所を持つ地域生協部会の会員で共済推進に関する報告・情報交換会を開催しました。参加会員からの2025年度の取り組みと2026年度の計画について報告、質疑応答を行いました。その後、こくみん共済から事業状況の報告の他、組織改変で名称が変更になること、火災保険の契約期間短縮に伴った業務委託契約書の再締結について説明がありました。

**2. 行政****● 3月11日(水) 栃木県有望品種意見聴取会(参加委員:中田会長理事)**

12月1月と有望品種の公募が実施され、今年は1件宇都宮大学から「ゆうだい21」の募集があり、安定的販路・標準品種と同等の所得が得られる・作付面積の実績があるなどの要件を満たしたことから協議の結果認定されました。有望品種になることで、栽培技術等の指導及び助言を得ることができようになります。美味しいとの評判で今後が期待されるところで

**● 3月13日(金) 栃木県食育推進会議(参加委員:中田会長理事)**

次期計画(とちぎ食育元気プラン)のパブリックコメントを実施した結果の意見内容と、その内容について検討した対応が報告されました。結果、原案通り策定することが報告されました。また、6月6日に実施される「第21回食育推進全国大会 in とちぎ」についての実施要項について説明がされました。大会時の賞品募集があり、生協連としてもコープ商品の寄贈を検討しています。交流では、とちぎ農産物マーケティング協会の地場商品を使った駅弁の取り組みやはちみつ協会、栄養士協会の取り組みが報告されました。

### 3. その他

- 3月2日(月) IYC2025国際協同組合年 栃木県実行委員会 第7回検討会

「2025国際協同組合年 栃木県実行委員会」の解散式を前に、解散式当日の持ち方や今後の連携について、参加団体事務局レベルでの会議を行いなした。「防災に係る共同宣言」に係る活動や連携組織としての次年度以降の方向性などについて確認しました。

- 3月 5日(木)～6日(金) 第31回 全国青年・女性漁業者交流大会(参加：竹内顧問)

全国の青年・女性漁業者が、日頃の研究・実践活動の成果を発表するとともに、参加者間の交流により知識や情報を共有・進化させることで、水産業・漁村の発展と活性化に資することを目的として開催されました。第1～第5分科会（下記参照）による研究・実践活動の成果発表と審査委員を中心にした質疑を行い、翌日に講評、水産高等学校研究発表、農林水産大臣賞受賞作品をはじめとした各賞の発表などを行いました。

- ・第1分科会 資源管理・資源増殖部門
- ・第2分科会 漁業経営改善部門
- ・第3分科会 流通・消費拡大部門
- ・第4分科会 地域活性化部門
- ・第5分科会 多面的機能・環境保全部門

- 3月11日(水) とちぎ農産物マーケティング協会（参加：中田会長理事）

理事会が開催され、年度のまとめと次年度計画と経費予算、および通常総会の議案について協議され、すべて満場一致で議決されました。活動計画では、前年同様に県農畜産物の国内外問わず知名度を上げる取り組みが報告されました。合わせて、フレッシュメイトの募集要項が公開されました。

- 3月14日(土) 栃木いのちの電話 開局45周年表彰式（参加：赤羽専務理事）

栃木県精神保健センターの一室からスタートし昨年9月で創立45周年となりました。電話を受けている相談員は宇都宮と足利で200名余り、2024年の受信件数は24,118件、8年連続、全国で2番目に多い件数です。相談員の増員は難しい状況にあり、2024年の栃木県内の自殺者数は317人です。

- 3月16日(月) IYC2025国際協同組合年 栃木県実行委員会 解散式

2024年10月23日に発足した「IYC2025国際協同組合年 栃木県実行委員会」は、2025年の国際協同組合年の終了と共に解散しました。解散式当日は検討会（第1回～7回）、記念フォーラム、報告会・交流会など、実行委員会活動中に行った会議やイベントの報告や会計報告の後、次年度以降の会の持ち方について提案を行い、参加者に承認を頂きました。

2026年度以降は、「栃木県協同組合連絡会」として10年後の国際協同組合年を意識した活動に取り組むこととなります。



● **3月25日(水) 地域生協部会 セットセンター見学**

パルシステム生活協同組合連合会 物流部のご協力のもと、地域生協部会参加団体の希望者で、2024年開所の「パルシステムつくばみらいセンター」施設の見学をしました。当日は物流部の部長・課長が、開所に至るまでの経緯や地域住民に対する配慮、仕事をする職員への心配りなど、説明をしながら施設の案内をしてくださいました。効率を考えながら、効率だけではない「生協」としてのあるべき姿を改めて感じた見学となりました。



● **3月 1日(月)第10回 クリーンアップ・ウォーク (定期ゴミ拾い)**

地域への環境活動として、県連事務所付近と県道64号線から宇都宮駅東口付近までのエリアでゴミ拾い活動を行いました。(午前中実施)

<目的>

- (1) 環境美化保全
- (2) プラスチックごみの海洋への流出を防ぐ、生態系配慮
- (3) リサイクル可能ゴミの有効活用、CO2排出削減

**ネットワーク活動**

**1. とちぎ消費者ネットワーク**

● **3月10日 第6回とちぎ消費者ネットワーク幹事会**

- 1. 学習会：でんわ相談室について  
講師：NPO 法人とちぎ消費生活サポートセンター 理事長 白土 美代子 氏
- 2. 2025年度の振り返りと2026年度計画について
- 3. 2025年度消費者行政アンケート結果について
- 4. 消費者問題学習会の開催について
- 5. 「とちぎ消費者カレッジ」進捗状況報告
- 6. 活動報告

● **3月26日(火)とちぎ消費者ネットワーク主催 消費者問題学習会 <27名参加>**

■演題：「紅麹サプリ問題」から機能性表示食品はどう変わったか

■講師：一般社団法人 Food Communication Compass 代表 森田 満樹 氏

2024年に社会問題となった紅麹サプリメント問題の背景や経緯、企業の管理体制、問題後の検討会についてお話し頂きました。紅麹関連製品による健康被害を踏まえた対応として、情報提供の義務化やGMP(適正製造規範)の要件化、表示方法の改正など行政の対応についても丁寧に説明を頂きました。



● **3月 消費者カレッジ開催**

開催日・開催校	講師	演題	人数
3月10日(火) 栃木県立宇都宮商業高等学校	のぞみ法律事務所 弁護士 阿久津 正巳 氏	消費者入門講座	44名

## 栃木県生協連 2026年4月度、5月度の活動予定

2026年3月31日(火)

2026年4月度予定	
1日(水)	MCA無線訓練 とちぎコープ本部引っ越し・断捨離タスク会議
2日(木)	第1回 とちぎ食の安全ネットワーク世話人会
6日(月)	第11回 クリーンアップウォーク 県庁暮らし課 来訪
7日(火)	第6回 定例理事会
10日(金)	栃木県報道代表者会と栃木県生活協同組合連合会との懇談会
11日(土)	第17回 オーガニック講座
13日(月)	第5回 暮らし部会
15日(水)	消費者カレッジ(自治医科大学 看護学部)
16日(木)	暮らし部会 学習会
20日(月)	栃木県協同組合連絡会
21日(火)	第6回 常務理事会
22日(水)	栃木県労働者福祉協議会 幹事会
25日(土)	栃木県メーカー中央大会
28日(火)	第1回 とちぎ消費者ネットワーク 幹事会
2026年5月度予定	
7日(木)	生協連会計監査
11日(月)	第12回 クリーンアップウォーク
12日(火)	役員推薦委員会 第7回 定例理事会 2025年度 共済・ろうきん報告会
15日(金)	とちぎ未来クラブ 総会
16日(木)	暮らし部会 学習会

栃木県生活協同組合連合会